

会社概要

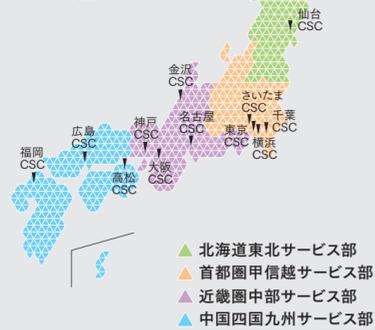
住友三井オートサービス株式会社

- 【本社】
 ◆東京本社／東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル
 ◆大阪本社／大阪府大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル
- 【拠点数】
 ◆本社・支店・エリアオフィス 44拠点
 ◆カスタマーサポートセンター(CSC) 13拠点
- 【車両保有管理台数】79万台(グループ合計)
 【車両関連マネジメント総数】140万契約(グループ合計)
- 【グループ企業】
 ◆マツダオートリース株式会社
 ◆株式会社エース・オートリース
 ◆株式会社セディナオートリース
 ◆SMAサポート株式会社
 ◆スペース・ムーブ株式会社
 ◆Sumitomo Mitsui Auto Leasing & Service(Thailand) Co., Ltd.
 ◆Summit Auto Lease Australia Pty Ltd.
 ◆SMAS Auto Leasing India Private Limited
 ◆日立キャピタルオートリース株式会社

【CSC配置図】

クルマの専門家(整備資格保有者)を全国13拠点のCSCに配置。現地密着の体制で、提携工場と一体となってお客様のサポートに努めています。

カスタマーサポートセンター13拠点



サービス部門長挨拶

「安全・安心に車両をご利用頂けるようメンテナンスサービスに努めます」



今夏は記録的な猛暑となり、最高気温を更新する地域が続出しました。猛暑は、熱中症等体調にも影響が出ますが、車も影響を免れません。特にタイヤは、路面温度の上昇の影響を受け、例年以上にバーストの発生率が高まりました。

弊社としましては、車両点検時にはタイヤ点検にも細心の注意を払いますが、例えば空気圧は日々低下していきます。ユーザーの皆さまにおかれましては、乗車時には、空気圧・ひび割れの有無等タイヤの状態のご確認を頂けます様宜しくお願い致します。

サービス部門は、お客様にメンテナンスサービスをご提供する部署であり、提携整備工場様と密接に協力しながら、安全・安心に車両をご利用頂ける環境の整備に日々動いております。

その一環として、安全・安心な車両のご使用に役立つヒントを提供させて頂ければと思いますので発行したのがSMASメンテナンスニュースですが、今回で第三号となりました。

手さぐりの中、試行錯誤を続けておりますが、皆さまが車両をお使いになる際に何かお役に立てたとしたら大変幸いです。

皆さまよりのご意見・ご要望を踏まえて内容をより良きものにしていきたいと思いますので、引き続きのご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

サービス部門長
 宮岡 一夫

SMAC提携メンテナンス工場訪問

Volume

3-1 松岡モータース株式会社



〒812-0888 福岡県福岡市博多区板付1-10-35

【代表者】代表取締役社長 島田より子

【TEL】092-411-7261

【URL】http://www.matsuoka-motars.co.jp/

今回は九州の整備工場である、松岡モータース、窪田自動車工業の2社を紹介していきます。

まずは、松岡モータースから。インタビュー取材に松岡祐次郎副会長と島田より子社長が答えてくださいました。

—— 特長、アピールポイントは？

松岡モータース／1947年(昭和22年)に創業し、現在の社長(島田氏)が4代目になります。終戦直後は自転車やオートバイをパーツから組み立てたりしていたと聞いています。創業当時は日本車だけでなくほとんどクルマが走っていないような状況下で、クルマについては中古パーツや自作パーツで修理をしていたようです。

—— ハイブリッド、EVなどクルマの新技术についてはどのように対応されていますか？

松岡モータース／昨今の自動車の進化は著しく、自動車メーカーが主催する新技术セミナーや、SMAS高度技術研修会などに参加して、新技术を取得すべく活動しています。それから整備するためには設備も必要となってきますが、現状では次世代車と呼ばれるクルマ、先進の安全技術などのテスターなどはまだ一般には販売されていません。特定メーカーだけでなく、汎用できるものが出てくることに期待しています。

—— どこでも話を聞く人材不足についてはどうですか？

松岡モータース／どこにも負けないくらい足りない状態にあります。ただし、若い子たちが入ってきていて、技術を教えている段階です。昔は整備専門学校から新入社員が入ってきていましたが、現在は普通高校、大学からも入ってきているのが昔と最も違う点です。その対策として資格を

取得させるために社内で講習などもやらなくてはならず、実際に着手し始めています。そういう意味では、整備専門学校が少なく、独学や先輩などに教えてもらって勉強するしかなかった、かなり昔の状態に戻っているとも言えます。

—— 自動車整備業界は昔と変わったところはありますか？

松岡モータース／整備業界は自然淘汰の時代に入っているのが最も変わった点です。それからクルマも進化して、ぶつからないクルマなども登場しています。これによって仕事、特に钣金修理などは減ってくると思いますが、実際どうなるのかはまだわかりません。ただ、時代が変化するのは当然で、10年後に弊社がどのような状態になっているのか、やっている仕事は同じなのかということはわかりませんが、いろいろな変化に対して柔軟に対応していくことが重要だと考えています。時代に流されるのではなく、流れに乗ることが必要になってきます。

—— 今後どのようになりたいですか？

松岡モータース／今後の方向性を見出すのは非常に難しく頭を悩ませる問題です。ただクルマを取り巻く環境が変わり、クルマ自体も大きく変わっているなか、お客様に対しかただけのつき合いではなく、こちらの誠意を示し、要求に対してはきちんと応えていきたいと思えます。それを実現するためには、高度な技術力も必要になりますが、根底にあるのはお客様の信頼を得て、人と人とのつき合いを通して、頼られるような整備工場になりたいと思っています。



Volume

3-2 窪田自動車工業株式会社



〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-17-17

【代表者】代表取締役社長 窪田岳史

【TEL】092-411-2266

【URL】http://www.kubota-jidosya.co.jp/

窪田自動車工業は窪田信一会長と6月に社長に就任したばかりという窪田岳史社長が答えてくださいました。

—— 特長、アピールポイントは？

窪田自動車工業／1928年(昭和3年)に個人営業の钣金塗装工場として創業、法人化されるのは戦後の1947年(昭和22年)です。創業時はクルマがほとんど走っていないなか、輸入されたフォード車を自分たちで鉄板を買って基本的にパーツを自製しながら修理していたようです。

特筆すべきは創業から2年後に、福岡市からの要請によりバスを自作したこと。バスを見たこともなかった創業者ですが、絵本を参考に筑前琵琶の木工職人の協力を得て、アルミで5台のバスを手探りで製作したそうです。1930年(昭和5年)には、ガソリンが日本に入ってきたので政府の依頼を受け木炭自動車、薪自動車の開発、製造に着手して好評を得たようです。自動車教習所の教習車には、助手席側に補助ブレーキが装着されていますが、横に乗っていて怖

いという教習所教官の要望に合わせて弊社の創業者が考えたのが発端だったようです。

このように創業者が無理難題と思われるものでも求められると嫌とは言わず、果敢にチャレンジしてそれに応えてきました。その社風は現在も引き継がれています。

—— 今後についてお願いします。

窪田自動車工業／弊社の代々受け継いできたチャレンジングなところ、誠実さという点は今後も継承しつつ、技術力、CS(顧客満足度)、ES(従業員満足度)という3本柱をさらに高めていきたいと思っています。CSに関しては、より細かなサービスをするために地域密着型でお客様に近い存在であることを目指していきます。それを実現するためには従業員が働きやすい環境を作っていくことが重要になってきます。



全国CSC巡り

Volume

3 福岡CSC

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前

3-30-23博多管絃ビル

【TEL】092-473-8406

【管轄エリア】九州全域、沖縄県、山口県(下関市)

第3回目となる今回は福岡CSCの新屋敷恵太センター長に話を聞いた。

—— 思い深い出来事、エピソードはありますか？

新屋敷／福岡CSCに配属されて間もない頃、路上故障で困ったお客様から、提携工場を教えてくださいという連絡が入り、私が対応させていただいたのですが、私の名前を告げると、お客様から「以前は大変お世話になりました」とお礼を言われた時には、お客様とのつながりを感じました。

—— メンテナンス管理で苦労することはありますか？

新屋敷／バッテリーのトラブルが増えています。性能は昔に比べて飛躍的に向上しましたが、最近のバッテリーはほとんど劣化の傾向もなく突然使えなくなる、というケース

がたまにあります。予防点検の1週間後に突然使えなくなったこともあり。お客様に安心して乗っていただけるように、今後も細心の注意が必要です。

—— 最後にひと言をお願いします。

新屋敷／予防整備の充実、しっかりとした管理がメンテナンスの強みです。お客様に安心してリースライフを送っていただくために、予防点検、予防整備ということをお客様に認識していただくよう働きかけると同時に、提携工場様とともに徹底的に実践していきたいと考えております。



SMAS Maintenance News

Sumitomo Mitsui Auto Service Company, Limited

SMASメンテナンスニュース

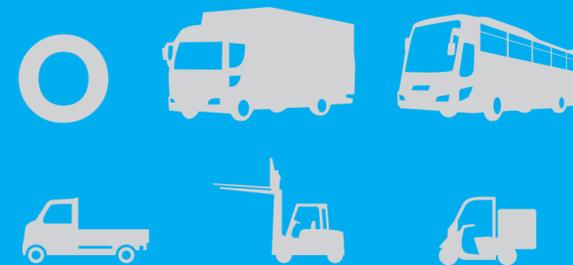
Volume

3

Autumn 2018



Sumitomo Mitsui Auto Service



そうだ、これからのクルマのこと、相談しよう。



SMASメンテナンスサービスは、
 現地密着のサポート体制により、
 お客様に安全と安心を提供します！



トラブルも怖くない！
クルマ豆知識

クルマ豆知識

毎月タイムリーな話題、季節ネタなどを交えながら
クルマについてためになる豆知識について
取り上げていきます！

Driving Tips _ 4

チェック！ 法定日常点検15項目

クルマの点検整備は法律により義務づけられていて、乗用車の場合は、新車登録3年後の車検(それ以降は2年ごと)やその間の1年ごとの定期点検が有名ですが、本企画では国交省が定めた15項目の法定日常点検を取り上げます。日常点検を習慣づけると、クルマのコンディション変化がわかるようになり、故障などを未然に防ぐこともできます。



ボンネットを開けて点検！

1 ブレーキフルード(オイル)

【チェック内容】
液量が上限と下限の間にあるか
【点検しないとうなる?】
少ないとブレーキの効きが甘くなる
【最悪のケース】
ブレーキが効かなくなる

2 冷却水

【チェック内容】
液量が上限と下限の間にあるか
【点検しないとうなる?】
不足するとオーバーヒートを起こし走行不能になる
【最悪のケース】
エンジンから出火して車両火災

3 エンジンオイル

【チェック内容】
量と汚れをオイルレベルゲージに付着するオイルで確認
【点検しないとうなる?】
エンジンを傷つけて走行不能になる
【最悪のケース】
エンジンが焼き付き車両火災

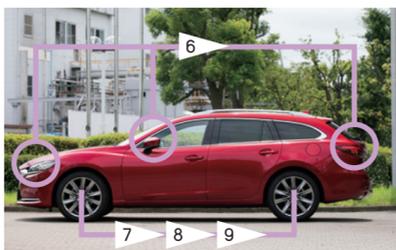
4 バッテリー液

【チェック内容】
液量が上限と下限の間にあるか
【点検しないとうなる?】
充電能力が低下してエンジンのかかりが悪くなる
【最悪のケース】
バッテリーが破裂

5 ウィンドウウォッシャー液

【チェック内容】
タンク内の液量
【点検しないとうなる?】
ガラスの汚れを落とせず視界不良となる
【最悪のケース】
視界不良による事故

※ハイブリッド車には駆動用バッテリー冷却用の吸入口(ダクト)があります(トヨタプリウスの場合、運転席側のリアシート下)。荷物や衣服などで塞ぐかたちになると、駆動用バッテリーの過熱やパワーダウンの要因となるので要注意。



クルマ周りを回って点検！

6 ランプ類

【チェック内容】
点灯、点滅の確認、破損の有無。
著しく汚れている場合は洗浄
【点検しないとうなる?】
交通違反による減点対象にもなる。夜間の走行不能。
ウィンカー、ブレーキランプのタマ切れは追突事故を誘発
【最悪のケース】
重大な人身事故、追突事故

7 タイヤ①

【チェック内容】
タイヤの破損や亀裂、異物などを目視
【点検しないとうなる?】
パンク、タイヤバーストの要因となる
【最悪のケース】
高速道路走行中は重大事故につながる

8 タイヤ②

【チェック内容】
空気圧が推奨値かを確認
【点検しないとうなる?】
空気圧が高すぎると制動距離が長くなり、乗り心地が悪化、低すぎると燃費が悪化
【最悪のケース】
空気圧が高すぎても低すぎてもバーストの危険性あり

9 タイヤ③

【チェック内容】
タイヤの摩耗を示すスリップサインが出てないか
【点検しないとうなる?】
制動距離が長くなる
【最悪のケース】
サイドブレーキ現象で重大事故を誘発

※丸で囲ったポイントは車種、グレードによって配列や形状が異なります



運転席に乗り込んで点検！

10 エンジン①

【チェック内容】
始動性、アイドリングは一定で異音はないか
【点検しないとうなる?】
走行中にエンジンがストップ
【最悪のケース】
追突事故

11 エンジン②

【チェック内容】
回転の上昇、加速はスムーズか、アクセルの引っかかり
【点検しないとうなる?】
スムーズな運転ができなくなる
【最悪のケース】
追突事故の誘発、走行不能

12 ウィンドウウォッシャー液

【チェック内容】
実際に噴射して、角度や高さが適正か
【点検しないとうなる?】
ガラスの汚れを落とせず視界不良となる
【最悪のケース】
視界不良による事故

13 ワイパー

【チェック内容】
ウォッシャー液を噴出してから動作確認
【点検しないとうなる?】
視界不良のまま運転することになり危険
【最悪のケース】
大雨の場合運転できない。無理して運転して事故

14 ブレーキ

【チェック内容】
アイドリング状態で踏み込んでフワフワ感がないか
踏みしろ
【点検しないとうなる?】
制動距離が長くなる
【最悪のケース】
ブレーキが効かずに事故

15 パーキングブレーキ

【チェック内容】
引きしろ(レバータイプ)、踏みしろ(ペダルタイプ)
【点検しないとうなる?】
坂道駐車できき出す可能性あり
【最悪のケース】
クルマが坂道を転がり落ちて事故

[SMAS流クルマ研究]

クルマのことを知ると、クルマがもっと楽しくなる！
毎月、カーライフを充実させる
情報満載でお届けします！

Volume _ 3

素朴な疑問 ～エンジン編～

クルマのメカニズムに関していろいろ疑問をお持ちの方も多いと思います。SMAS流クルマ研究では、素朴な疑問に対してお答えしていきます。今回はクルマの心臓部であるエンジンに関する3つのテーマを取り上げます。

ターボとは？

通常は燃焼 & 爆発によって出た排気ガスは排気管→マフラーを
通って車外に排出されますが、排気ガスの一部を使ってシリンダー内に大量の空
気を送り込むのがターボチャージャーであり排気量のアップと同じ効果があります。
昔のターボはハイパワーだが燃費が悪いというのが定説でしたが、現在では小排
気量エンジンに組み合わせることで、燃費とハイパワーの両立に加え排気ガスのク
リーン化にも大きく貢献しています。これがダウンサイジングターボです。

日本のダウンサイジングターボとしては、トヨタクラウン(2ℓターボ)、トヨタCH-R & カローラスポーツ(1.2ℓターボ)、ホンダステップワゴン(1.5ℓターボ)、スバルレヴォーグ(1.6ℓターボ)などがあります。
ターボエンジンで気を配らなければいけないのがオイル交換です。ターボエンジンは高回転を常用したりシリンダー内が高負荷となるため、ターボの付いていないエンジンに比べるとオイル交換のサイクルが早くなります。自動車メーカーが定める基準ではターボの付いていないエンジンのオイル交換目安が1万5000kmまたは1年とすれば、ターボエンジンは5000kmまたは半年となります。

新しい燃費基準『WLTC』とは？

2018年10月、新しい燃費基準の『WLTC』が導入されます。
これまでのJC08モード燃費とどう違う？
測定モード、条件などが大幅に変更されJC08モードの燃費数値が1つしかなかったのに対し、WLTCは4つの燃費数値が存在することが最も違う点で、市街地モード、郊外モード、高速道路モードと細分化され、総合的な走行モードとしてWLTCモードとなっています(下図参照)。



義務化に先駆けて14車種がWLTCモード燃費を公表(2018年8月1日現在)
2018年10月以降に登場する新型車についてはWLTCモードが義務づけられますが、それに先立ちWLTCモード燃費を公表しているのは、トヨタが2車種(カローラスポーツ、クラウン)、ホンダが2車種(オデッセイ、ステップワゴンのハイブリッドのみ)、マツダが6車種(ロードスター、CX-3、CX-5、CX-8、アテンザセダン&ワゴン)、スバルが2車種(フォレスター、プレオプラス)、スズキが2車種(ジムニー、ジムニーシエラ)の合計14車種となっています。下表のカローラスポーツを見てもわかるとおり、JC08モード燃費に比べると燃費値が悪くなっているのは、実燃費に近づいた証拠です。

カローラスポーツ ハイブリッドG	
WLTCモード	▶ 30.0km/ℓ
市街地モード	▶ 29.4km/ℓ
郊外モード	▶ 32.9km/ℓ
高速道路モード	▶ 28.8km/ℓ
JC08モード	▶ 34.2km/ℓ



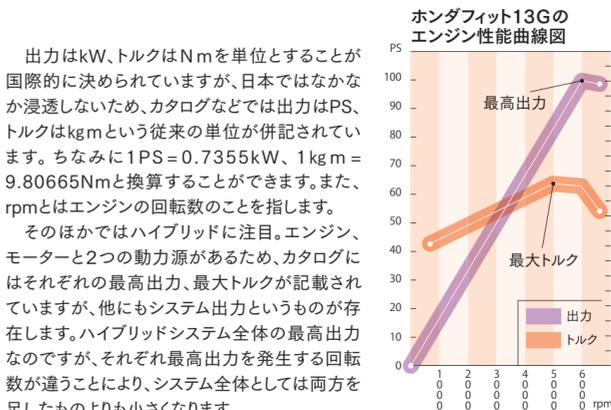
最高出力と最大トルク、何が違う？

トルクはそのエンジンが持っている力で、その力を使って一定時間内に行ける仕事
が出来るとなります。例えば荷物を運ぶ場合、50kgを運べる人もいれば、25kgしか
運べない人もいます。この違いがエンジンでいうトルクの違いとなります。最大トルク
はそのエンジンの持つ最大の力です。

では出力はどうでしょう？ 基本的にトルクが大きいほうが出力も大きくなる傾
向にありますが、常にそうではありません。例えば50kg運べる人は10分間に1個し
か運べないが、25kg運べる人は同じ10分間で2個運べるとなると、10分間の仕事
の量は同じ、つまり出力は同じになります。最高出力とはエンジンのできる仕事量
の限界のことであり、通常はこの数値の大きさが加速力や最高速度に影響します。
ちなみに、一般的に〇〇馬力と呼ばれているものは、この出力のことを指します。

車格によってスペックはこんなに違う	ムーヴXターボSA III	フィット13G	レクサスLS500
排気量	658cc	1317cc	3444cc
種類	直列3気筒DOHCターボ搭載	直列4気筒DOHC搭載	V型6気筒ツインターボ搭載
最高出力	47kW(64PS)／6400rpm	73kW(100PS)／6000rpm	310kW(422PS)／6000rpm
最大トルク	92Nm(9.4kgm)／3200rpm	119Nm(12.1kgm)／5000rpm	600Nm(61.2kgm)／1600～4800rpm

※軽自動車の最高出力は、メーカー自主規制により現状は64馬力(64PS)が上限



トヨタプリウス	
エンジン	▶ 最高出力98PS/最大トルク14.5kgm
モーター	▶ 最高出力72PS/最大トルク16.6kgm
システム出力	▶ 122PS

エンジン性能曲線を見てもわかるとおり最高出力と最大トルクの回転数が違うのは、回転の上昇に比べてトルクの減少が小さいためです。

メンテナンスサービスを受けられるお客様へのお願い

近年、点検整備の為に車両引取り・納車等の際に、機械式駐車場等における出入庫時の誤操作による場内事故や、引取り車両の積載物がそのまま放置されている為に、円滑なアフターサービスをご提供できないケースが多くなっています。無用なトラブルを回避する為にも、右記2点に関してお客様のご協力をよろしくお願致します。



※本取組みは自動車リース業界をあげて行っており、日本自動車リース協会連合会(JALA)のホームページに掲載されています。

お車のお引き渡し時は、予め車内・トランク・荷台の積載物を空荷にして頂くようお願い致します。

- ◆ 車検の制動力検査は規定の重量によって行われるため、荷物および積載物があると正しい検査結果が得られません。
- ◆ 荷物および積載物の破損や紛失などのトラブルを未然に防ぐことが出来ます。

タワーパーキングなどからの出入庫の作業はお客様自身にてお願い致します。

- ◆ 駐車場設備ごとに操作方法が異なるため、不慣れな者が操作することで車両や機械設備への損害などのリスクがあります。
- ◆ 誤操作等により同パーキングをご利用の他のお客様へもご迷惑をお掛けしてしまう事があります。

SMASの活動

【CSR活動】
SMASは経営理念や行動指針で「クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献」、「思いやりと感謝の精神を持ち、社会や地球環境の向上に貢献」を掲げ、本業を通じたクルマに関する課題解決のほかにも、いろいろな活動をサポートしています。ここではその活動についてクローズアップします。

「SMASの森」森林保全活動 (2017年11月～開始)

- ◆ SMASでは、本業を通じて電気自動車をはじめとする環境配慮型車両の普及推進やエコドライブの促進など、クルマの利用を通じた環境対応を継続的に進めています。
- ◆ 一方で、自動車や地球環境に及ぼす影響を認識し、環境課題と向き合うため、2017年11月に神奈川県南足柄市内に「SMASの森」を開所しました。社員や家族と一緒に環境保全の大切さを学び、当社事業と環境との関わりを社員一人ひとりが考え、豊かな社会を目指して活動しています。
- ◆ 主な活動は間伐、除伐、下草刈り、植樹などの森林整備活動です。また、自然観察や木材を活用したクラフト作りなども実施しています。

